資生堂企業資料館所蔵「百椿図」（模写）

この百椿図（写本）は華道家、安達潮花氏が所蔵されたもので、後に花椿マークを社章とする株式会社資生堂が譲り受けた。根津美術館所蔵の「百椿図」が原本といわれている。
百椿図は、２巻の巻物に１００種以上の園芸品種の椿を描きだした作品で、筆者は狩野山楽と伝えられている。図の多くには、江戸時代を代表する文化人たちが、園芸品種としての風情ある名前とともに、漢詩や和歌などの賛を寄せており、椿愛好の高尚をうかがうことができる。